



町民待望

町立病院の改築事業 いよいよスタート

軽度急性期・回復期患者の受け入れと医療と介護機能の一体化事業は工期短縮と事業費負担の軽減を図る発注方式を採用

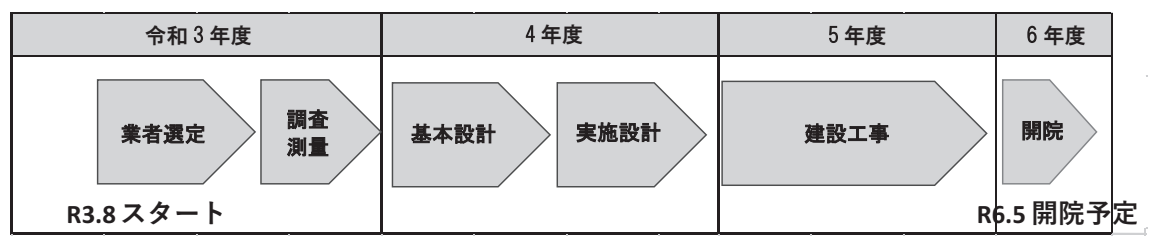
昭和 41(1966)年建設の町立病院は、経年による老朽化が著しく、また、公立病院として東胆振医療圏における回復期患者受け入れの重要な位置付けにもあることから、地域に求められる医療を適切に提供していくために早期の改築が必要です。

改築にあたってこれまで、本町を取り巻く環境と将来見通しなど、病院改築に関する分析内容の再精査を図りながら、将来に向けた町立病院の役割と病床機能および規模の検討と協議を重ね、このほど、町議会をはじめ関係各位の理解を得て病院改築基本計画を策定しました。

本町の病院改築事業は、公共工事における新たな発注方式の一つである設計施工一括発注(デザインビルド)方式を採用し、工期短縮と事業費増加リスクの低減を図りながら、町民が一日も早く心地よい環境で受診できる新しい病院づくりを着実に進めてまいります。

病院改築事業の概要

【整備スケジュール】



病院理念

町立病院は、地域における基幹的な公的医療機関であり、地域住民の医療確保のため重要な役割と機能を果たすものです。新病院においても「患者さんに信頼され笑顔と思いやりのある病院づくり」を理念として掲げ、医療と介護を多角的に提供する面倒見のいい病院として、本町の地域包括ケアシステムの構築を目指します。

整備方針

- ① 患者の状態に応じた効果的、かつ効率的な治療の提供や医療安全対策など、安全安心な療養環境などを提供できる施設整備を進めます。
- ② プライバシーへの配慮や療養環境の改善、来院者が分かりやすいシンプルな動線の確保など、患者中心の施設整備を進めます。